

鉄道高架化による事業効果

鉄道高架化により、踏切による渋滞の解消や鉄道で分断された地域の発展が期待されます。

物流ネットワークの活性化

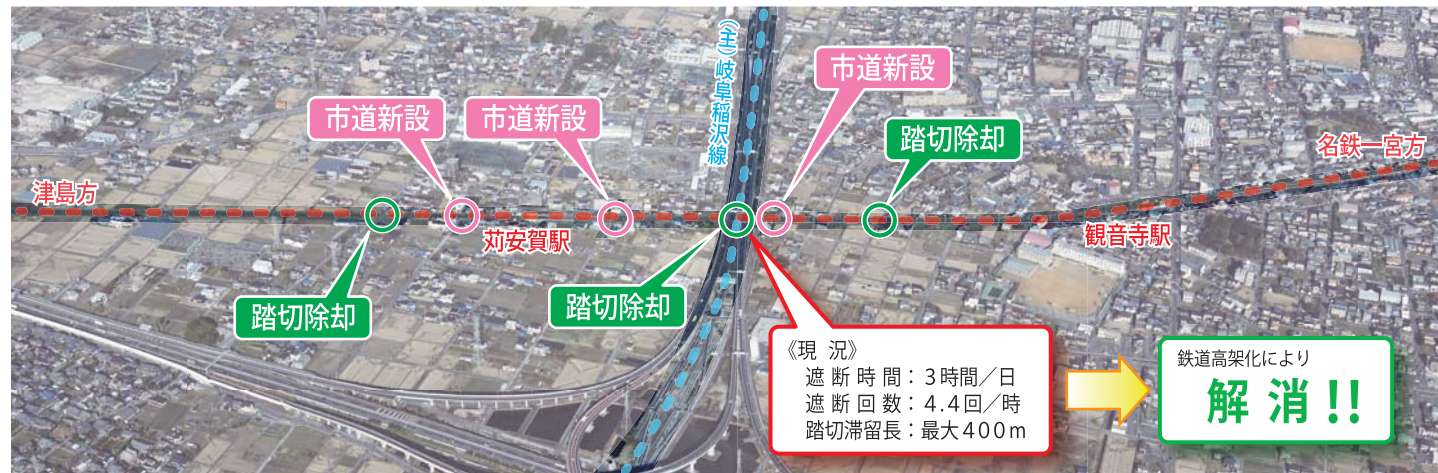
鉄道を高架化し、(主)岐阜稲沢線を4車線化することで、自動車交通が円滑化されます。地域間の移動時間短縮、輸送費の削減を図ると共に、東海北陸自動車道のインターチェンジ周辺の新たな工業・物流拠点へのアクセス性が向上します。

周辺地区の安全性の向上

鉄道高架化により、(主)岐阜稲沢線を含む3箇所の踏切がなくなります。踏切周辺の生活道路への迂回通過交通がなくなり、交通事故リスクの低減が期待されます。また、踏切渋滞が解消されることで、緊急車両等の安定した輸送が確保され、近隣の救急医療施設への搬送時間短縮が期待されます。

周辺地区の利便性の向上

鉄道高架化に合わせ、新たに3箇所の交差道路を整備することで、地域の分断を解消し、地区交通の利便性向上が期待されます。



位置図



鉄道高架事業についてのお問い合わせ



愛知県 一宮建設事務所
都市施設整備課
一宮市今伊勢町本神戸字立切1番地4
TEL. 0586-72-1411 (代表)



一宮市
まちづくり部 都市計画課
一宮市本町2丁目5番6号
TEL. 0586-28-8100 (代表)

名鉄尾西線苅安賀駅付近 鉄道高架事業



愛知県・一宮市

事業概要

主要地方道岐阜稲沢線は、岐阜市から稲沢市に至る主要幹線道路で、東海北陸自動車道や一般国道155号とも接続し、西尾張地域の交流や発展の役割を担う重要な路線です。

しかしながら、尾西線との交差部では、鉄道による踏切遮断と、その前後区間での4車線から2車線への車線減少により慢性的な渋滞が発生し、地域間の交通や市民生活に支障をきたしています。

こうした状況を改善するため、鉄道の高架化により、踏切を除去することで交通渋滞を解消し、地域間交通ネットワークの機能向上を図ります。さらに、鉄道による地域の分断を解消すると共に、踏切事故を防止し、安全・安心で快適なまちづくりを実現します。

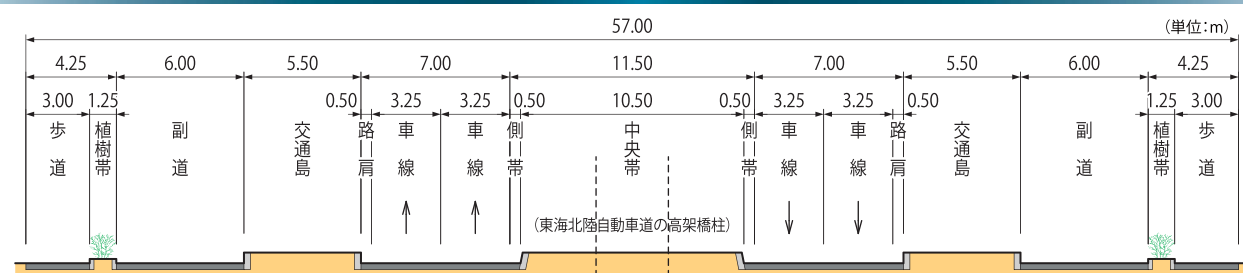
鉄道計画

事業区間	一宮市大和町苅安賀～昭和二丁目
事業延長 ()内、鉄道高架延長	L=1.8km (L=1.1km)
立体交差道路 (6路線)	(既存) ・(主)岐阜稲沢線 ・その他道路 … 市道2路線 (新設) ・市道3路線
踏切除却数	3箇所(内、自動車ボトルネック踏切 ^(※) 1箇所：苅安賀1号踏切) <small>※自動車ボトルネック踏切：踏切自動車交通遮断量(自動車交通量×踏切遮断時間)が5万台時/日以上</small>

道路計画

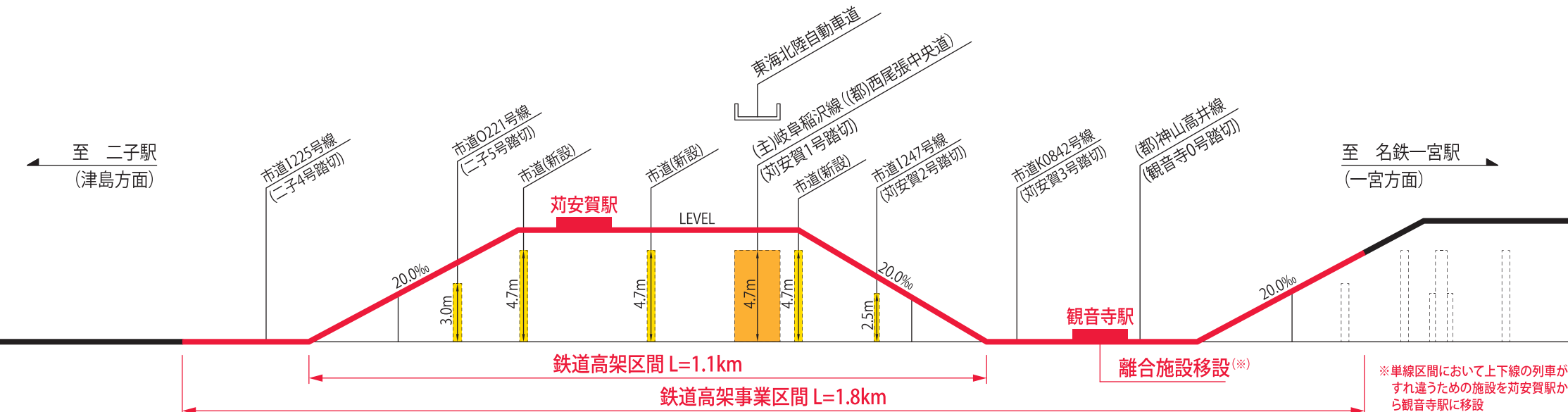
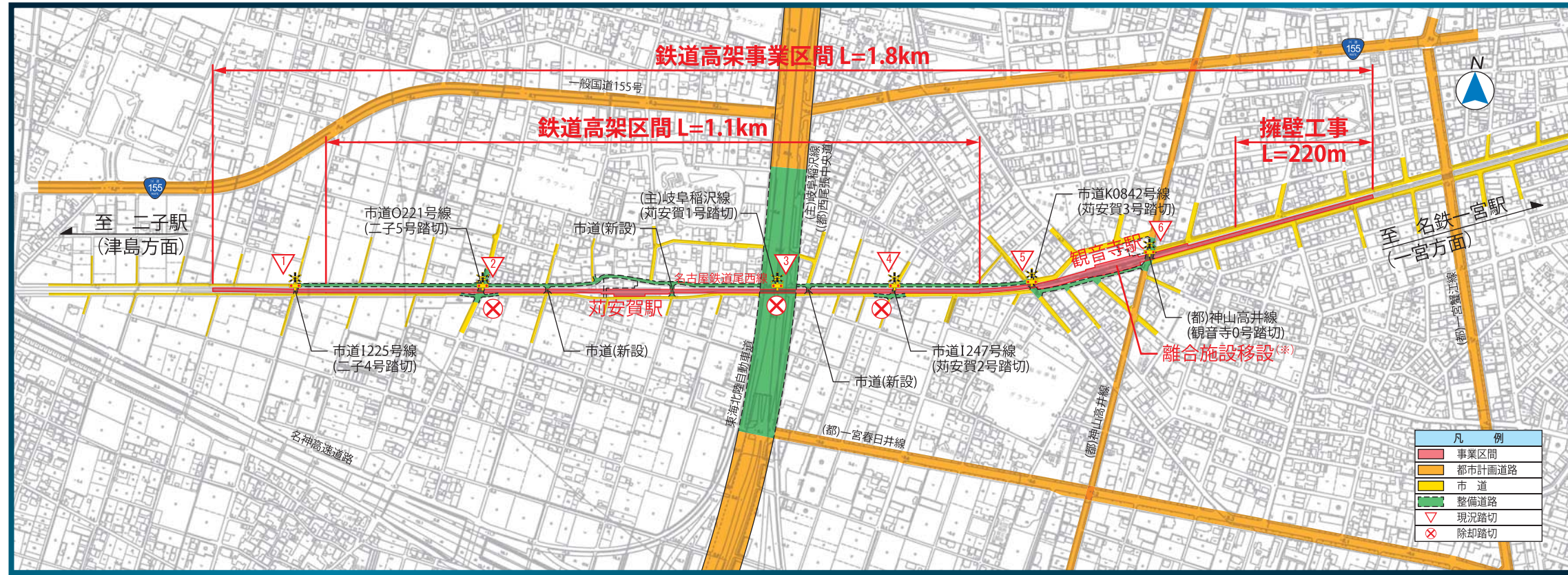
道路名称	主要地方道 岐阜稲沢線
道路区分	第4種第1級
計画幅員	W=57m, 4車線
事業主体	愛知県

道路計画断面

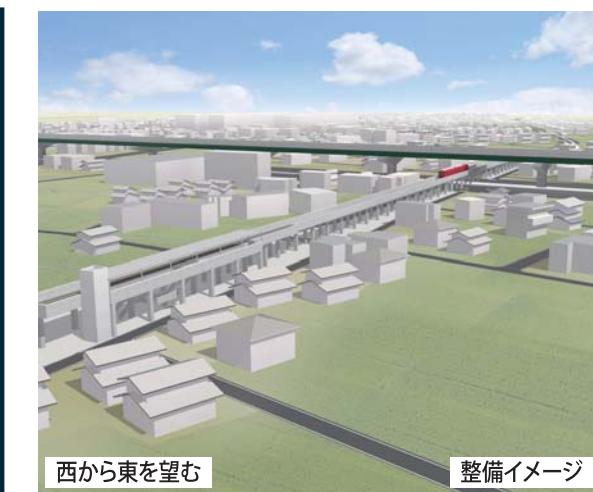
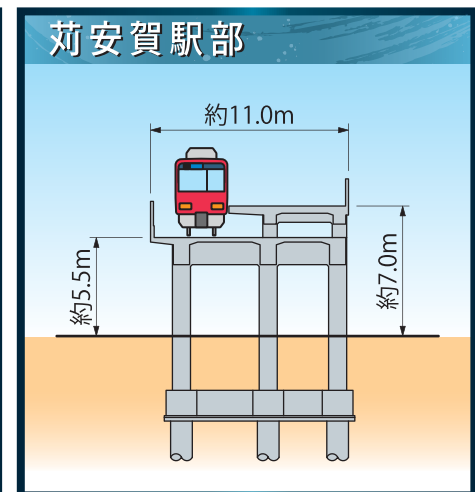
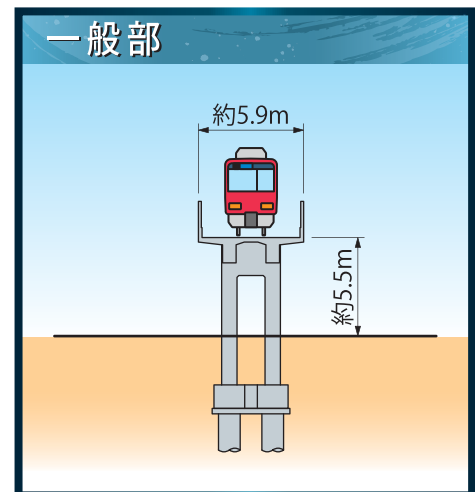
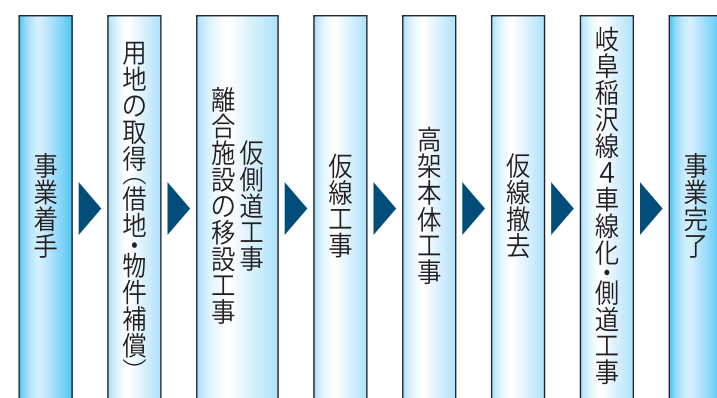


現況写真: 主要地方道 岐阜稲沢線

事業概要図



事業完了までの流れ



整備イメージ

鉄道高架工事の順序

